

2017年 8月期 第2四半期

# 決算説明資料

2017.04.07

YAMATO INTERNATIONAL INC.

< 証券コード 8127 >

2016年5月26日発表 中期構造改革

## 「ハードからソフトへの変革」

積極的な投資

「新しい価値」 「新しいつながり方」

未来に通用する

ブランディング型ビジネスの構築

「集客の拡大」と「利益の拡大」

2017年8月期 第2四半期

# 決算概要

※資料に記載の（前年比）は、前年第2四半期対比を表しています。

# 中期構造改革「ハードからソフトへの変革」

商標権を保有し、イニシアチブをとることが可能なブランド



「ソフトの投資」



「集客の拡大」



「利益の拡大」

2016年 – 2018年 3年間の投資フェーズ

1 事業戦略

2 投資戦略

3 ワークスタイル変革

ヤマトならではの強みを徹底的に活かす

# 2017年8月期 第2四半期 決算概要

経常利益  
(当初計画比)

61.2%

- ▶ 2017年3月24日上期業績予想の上方修正を公表
- ▶ 営業・経常利益ともに増益
- ▶ 当初想定していた会計処理に変更が生じ、ライセンス事業終了にともなう特別退職金等の計上により、特別損失が当初計画より+42百万円増加

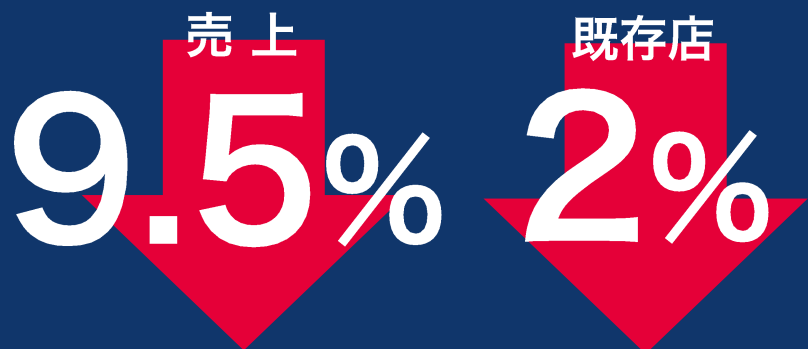
中期構造改革の成果が現れ始め

2010年以来、7年ぶりの大幅上方修正

(連結)	2016年8月期	2017年8月期			
	2Q累計実績	当初公表	2Q累計実績	前年比 (増減率)	公表比 (増減率)
売上高	11,801	10,700	10,682	▲9.5%	▲0.2%
営業利益	481	330	512	+6.6%	+55.3%
<売上比>	4.1%	3.1%	4.8%	+0.7pt	+1.7pt
経常利益	500	330	531	+6.3%	+61.2%
<売上比>	4.2%	3.1%	5.0%	+0.8pt	+1.9pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	283	140	259	▲8.5%	+85.2%
<売上比>	2.4%	1.3%	2.4%	±0pt	+1.1pt

# 2017年8月期 第2四半期 決算概要【売上・既存店・EC】

## 売上・既存店

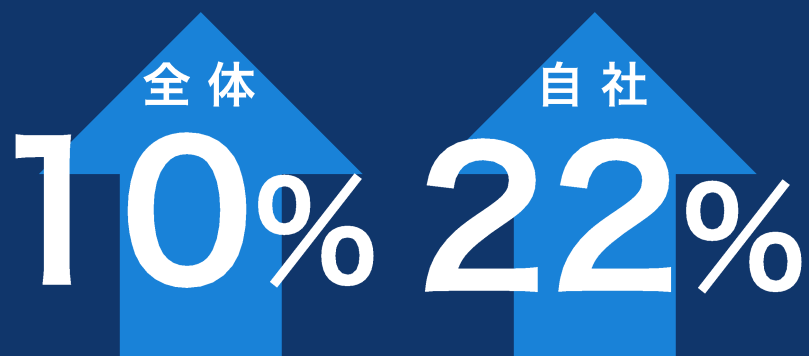


- ▶ 商標権を保有しない事業からの計画的な撤退が減収要因
- ▶ 既存店は9月・2月シーズン切り替え時期に苦戦

	全社	クロコダイル メンズ	クロコダイル レディス	スイッチ モーション	エーグル
売上 (前比)	▲9.5%	▲2%	3%	1%	▲21%
売上 構成比		46.1%	26.0%	5.3%	20.3%
既存店 (前比)	▲2%	▲1%	▲2%	▲3%	▲3%

(クロコダイル・スイッチモーションの既存店は自主管理型コーナーが対象)

## EC



- ▶ 2015年9月から顧客の会員化が進むクロコダイルに効果
- ▶ 自社ECで **前年比 +22%**  
**クロコダイル前年比+37%と大幅伸長**  
(前年下期+38%から大幅伸長を継続)

# 2017年8月期 第2四半期 決算概要【粗利】

## 粗利率

0.5pt

- ▶ 早期かつ適切な判断により0.5pt改善
- ▶ 引き続き「シーズン前半」「プロパー販売」に注力し、更なる粗利率の改善に努める

前年2Q実績	当年2Q実績	前年比 (増減率)
45.9%	46.4%	+0.5pt

# 2017年8月期 第2四半期 決算概要【販管費】

## 販管費

▲5億円

- ▶ 投資戦略に基づいたWEBマーケティング・販売促進費  
広告宣伝費、また、取得した商標などに積極投資しながら  
も前年比5億円削減
- ▶ 優位性を生む投資軸の転換が順調にシフト

( 連結 )	2016年8月期 2Q累計		2017年8月期 2Q累計		
	実績	売上比	実績	売上比	前年比 (増減額)
販売管理費	4,940	41.9%	4,439	41.6%	▲501
人件費	2,986	25.3%	2,748	25.7%	▲238
支払手数料	148	1.3%	222	2.1%	73
賃借料	477	4.0%	303	2.8%	▲174
減価償却費	94	0.8%	108	1.0%	14
その他経費	1,233	10.5%	1,055	9.9%	▲177

<単位 百万円>



# 2017年8月期 第2四半期 決算概要【在庫】

## 在庫

▲5.3億円

- ▶ 適切な判断により順調に消化がすすむ
- ▶ 前年より5億31百万円減少と計画以上に削減  
約10回転と高い在庫回転率
- ▶ エーグル事業の在庫も3Qに譲渡され、さらに減少

前年実績	当年実績	前年比 (増減額)
2,676	2,145 (約10回転 ・単体)	▲531

<単位 百万円>

# 2017年8月期 第2四半期 決算概要【出退店状況】

## 出退店実績

- ▶ クロコダイルを中心とした出店
- ▶ AIGLE契約終了に伴う退店

**877** 店舗  
＜直営 **11** 店舗 コーナー **866** 店舗＞

純減数（前年同期比）  
**▲49** 店舗  
＜直営 ▲27 店舗 コーナー ▲22 店舗＞

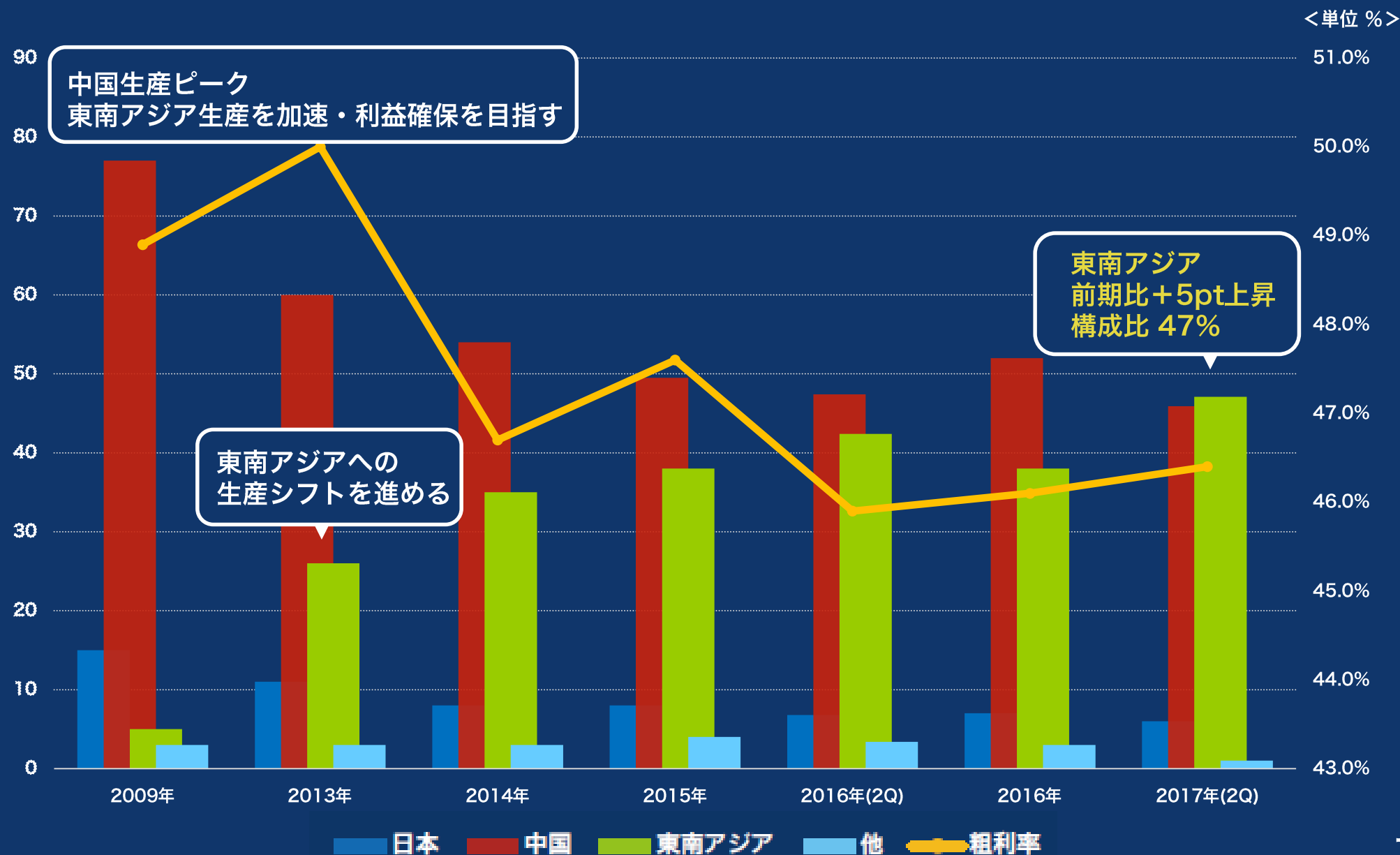
# 2017年8月期 第2四半期 決算概要【出退店状況】ブランド別

## ブランド別 店舗数 < 2017年 2月末 >

	前年実績 (2016年8月期末)	直営 プロパー	直営 アウトレット	コーナー	2Q実績 (2017年2月末)	前年期末比
クロコダイル メンズ	442			443	443	+1
クロコダイル レディス	334			339	339	+5
スイッチ モーション	86			84	84	▲2
クロコダイル 直営店	11	4	7		11	±0
					計 877	計 +4
エーグル	52				0	▲52
他	1				0	▲1
計	926	4	7	866	877	▲49

# 2017年8月期 第2四半期 決算概要【生産地】

## 生産拠点 国別構成比（金額ベース）



# 2017年8月期 第2四半期 決算概要【貸借対照表】

- ▶ 前年度に実施した中期構造改革によって大幅に圧縮されたバランスシート
- ▶ バランスシートは引き続き強靱・ROEの向上にも寄与
- ▶ **現預金＋有価証券は前期末の91億40百万円から107億円と増加**

	2016年8月期	2017年8月期				備考
	期末	2Q末	構成比	前年期末比 (増減額)	前年期末比 (増減率)	
流動資産	14,087	15,664	60.3%	1,577	11.2%	※公社債投信 含む
現預金＋有価証券	9,140	10,700	41.2%	1,560	17.1%	
現金及び預金	9,140	6,824	26.3%	▲2,315	▲25.3%	
有価証券	0	3,875	14.9%	3,875	—	
売掛金	1,838	1,707	6.6%	▲131	▲7.2%	
たな卸し資産	2,254	2,302	8.9%	48	2.1%	
その他	853	954	3.7%	100	11.8%	
固定資産	10,537	10,310	39.7%	▲226	▲2.2%	
有形固定資産	7,144	6,999	26.9%	▲144	▲2.0%	
無形固定資産	657	609	2.3%	▲47	▲7.3%	
投資その他の資産	2,735	2,702	10.4%	▲33	▲1.2%	
資産合計	24,624	25,975	100.0%	1,350	5.5%	
流動負債	5,519	6,905	26.6%	1,385	25.1%	
固定負債	1,661	1,358	5.2%	▲302	▲18.2%	
負債合計	7,180	8,263	31.8%	1,083	15.1%	
純資産合計	17,443	17,711	68.2%	267	1.5%	
負債・純資産合計	24,624	25,975	100.0%	1,350	5.5%	

2017年8月期

# 下期・通期計画

商標権を保有し、イニシアチブをとることが可能なブランド



「ソフトの投資」



「集客の拡大」



「利益の拡大」

「ソフトの投資」を前倒し、構造改革をさらに加速

## 2016年 – 2018年 3年間の投資フェーズ

1 事業戦略

2 投資戦略

3 ワークスタイル変革

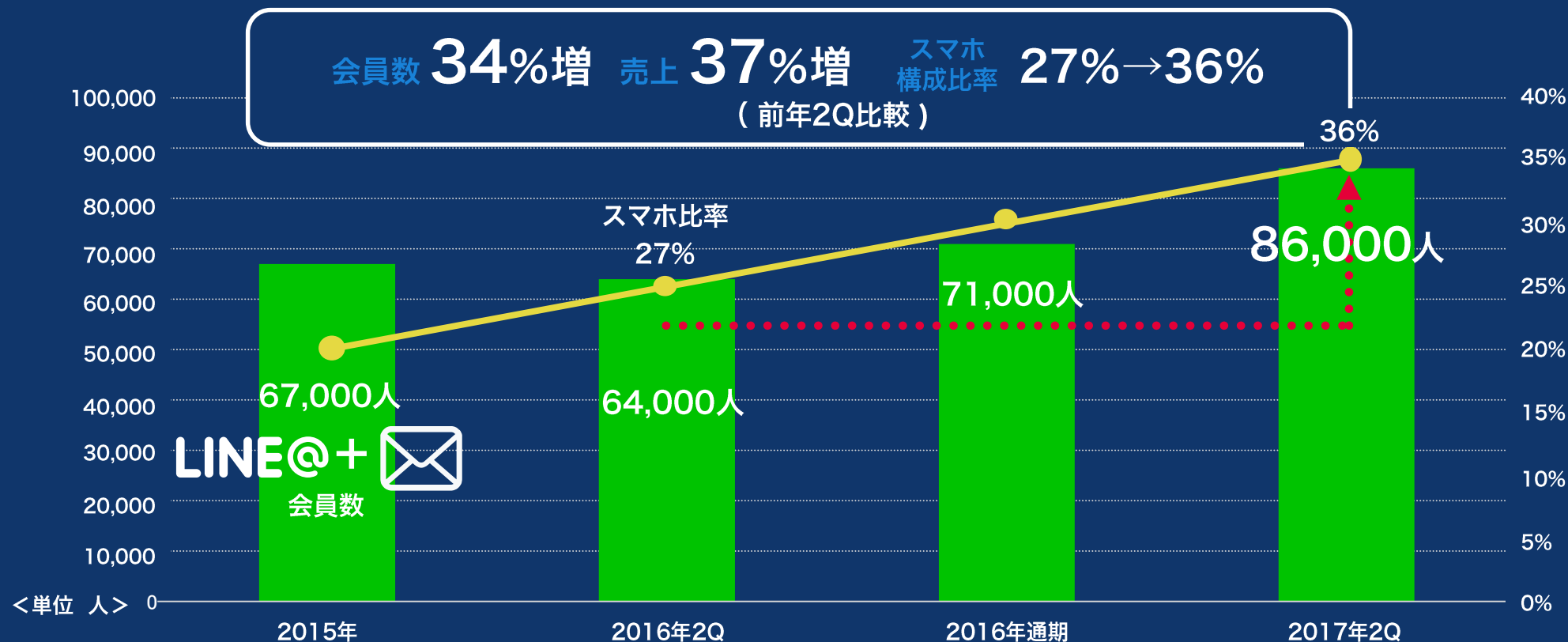
ヤマトならではの強みを徹底的に活かす

未来に通用する独自の  
ブランディング型ビジネスの確立



# 2017年8月期下期・通期計画【事業戦略】 クロコダイル

## クロコダイル【LINE@+メルマガ会員数】推移



LINE@とメルマガ会員が合計8万6,000となり30万人会員化が順調に進捗

「新しい価値」「新しいつながり方」で頻繁にコミュニケーション

プレミアムエイジ層にも親和性が高い

「集客の拡大」と既存店の底上げに

# 2017年8月期下期・通期計画【事業戦略】 クロコダイル



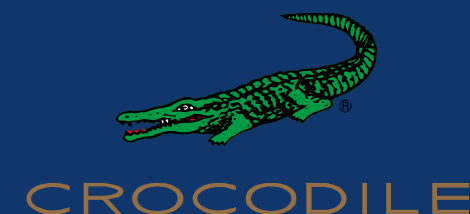
- ▶ エース株式会社とバッグを共同開発
- ▶ クロコダイルレディス出店、Relax・Sports・Chicの立地獲得
- ▶ ライセンス事業 8社14カテゴリー

coordinate.02  
CROCODILE LADIES'  
**Nylon 3way Tote**  
ナイロンスリーウェイトートバッグ

エース株式会社との共同開発

<p>帽子 (株)エクレティコ 大阪市東淀川区東中津3-2-4 TEL.06-6972-8851</p>	<p>アンダーウェア オグランジャパン(株) 大阪市中央区東船場4-11-28 TEL.06-6120-1501</p>
<p>ハンカチ (株)サロシエ 大阪市西淀川区本町1-18-1 TEL.06-6448-0685 (代)</p>	<p>メンズベルト・財布・バッグ ヤング屋敷(株) 大阪市平野区平野西4-9-5 TEL.06-6700-1151 (代)</p>
<p>レディスバッグ・財布 クインバッグ(株) 東京都台東区浅草橋2-28-5 TEL.03-3864-0241 (代)</p>	<p>靴下 助野(株) 東京都墨田区千亀3-17-7 TEL.03-3633-7033 (代)</p>
<p>手袋 ヨークス(株) 愛知県東かがわ市奥609-2 TEL.0879-25-5151 (代)</p>	<p>ネクタイ 三松屋(株) 東京都中央区日本橋蛸船町2-16-12 TEL.03-3668-6531 (代)</p>

ライセンス事業

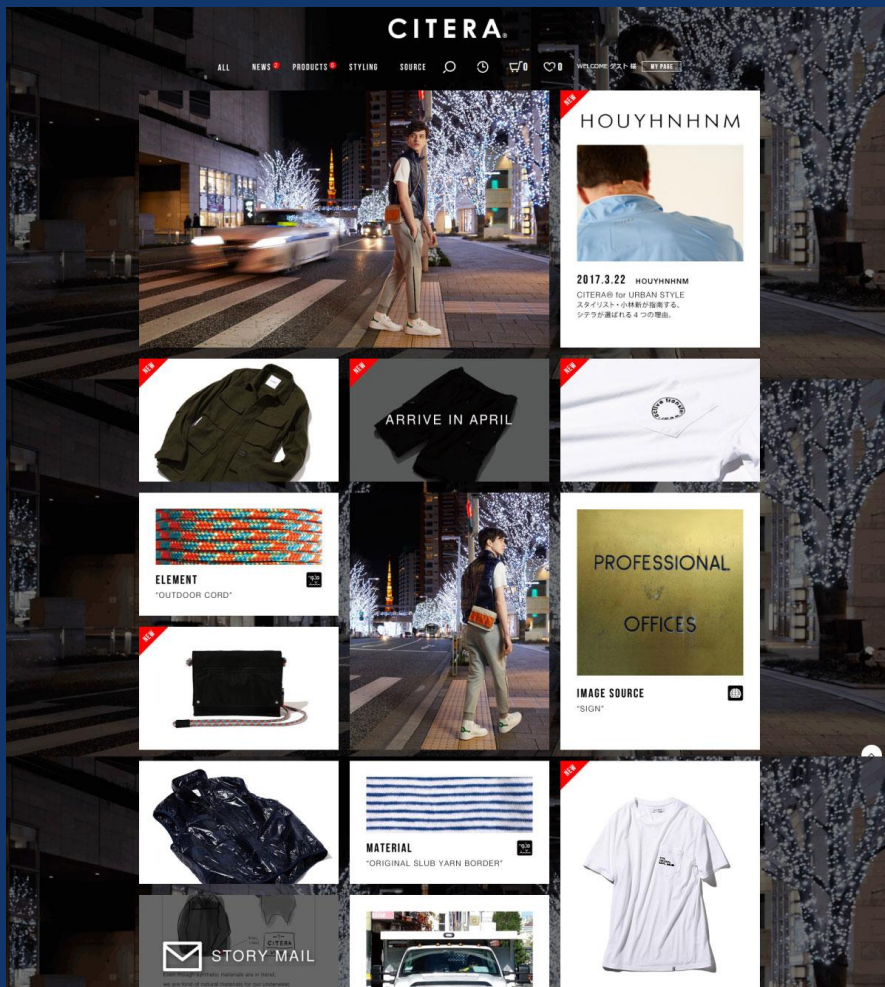


出店・立地獲得

18

# CITERA®

- ▶ SNS・WEB広告への集中投資・Apple表参道コラボイベント POPUPストア…ブランディングと集客の拡大に注力
- ▶ 下期はさらにお客様とのタッチポイントを増やしブランディングの確立に向けた投資を継続



# 2017年8月期下期・通期計画【事業戦略】PENFIELD



- ▶ 1975年米国ハドソンで生まれたファッションアウトドアブランド
- ▶ 日本および中国・香港・台湾での商標権を伊藤忠商事と共同保有
- ▶ Eコマースのプラットフォーム・WEBマーケティングを駆使したブランディングの確立



- ・セレクトショップ・専門店への卸
- ・POPUPストア・ショールーミングストアで展開



- ・伊藤忠商事のグローバルネットワークや豊富な生産背景、両社のブランドビジネスの経験を活用



- ・ライセンス事業 4社5カテゴリー
- ・アジアでの展開拡大も目指す

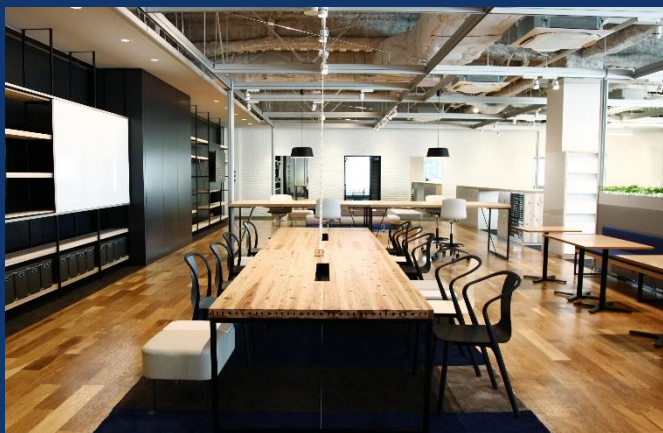


- ・歴史あるブランドのレガシーを活かし今の時代にアップデート



# 2017年8月期下期・通期計画【投資戦略／ワークスタイル変革】

## 大阪本社移転・改装／東京本社改装

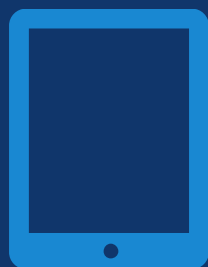


大阪本社



東京本社

## 900店舗にタブレット導入



900店舗という規模が大きな効果

本社・店舗へ  
同時に投資

「コミュニケーション  
スピード・効率化」

通信費・交通費  
ムダな作業を削減

更なるコスト削減

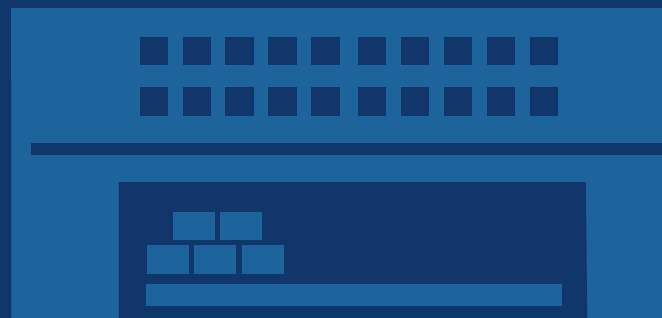
# 2017年8月期下期・通期計画【投資戦略】

旧大阪本社と石切倉庫の跡地→大手企業と賃貸借契約を締結



旧大阪本社跡地

2017年第3四半期から収入を予定



石切倉庫跡地

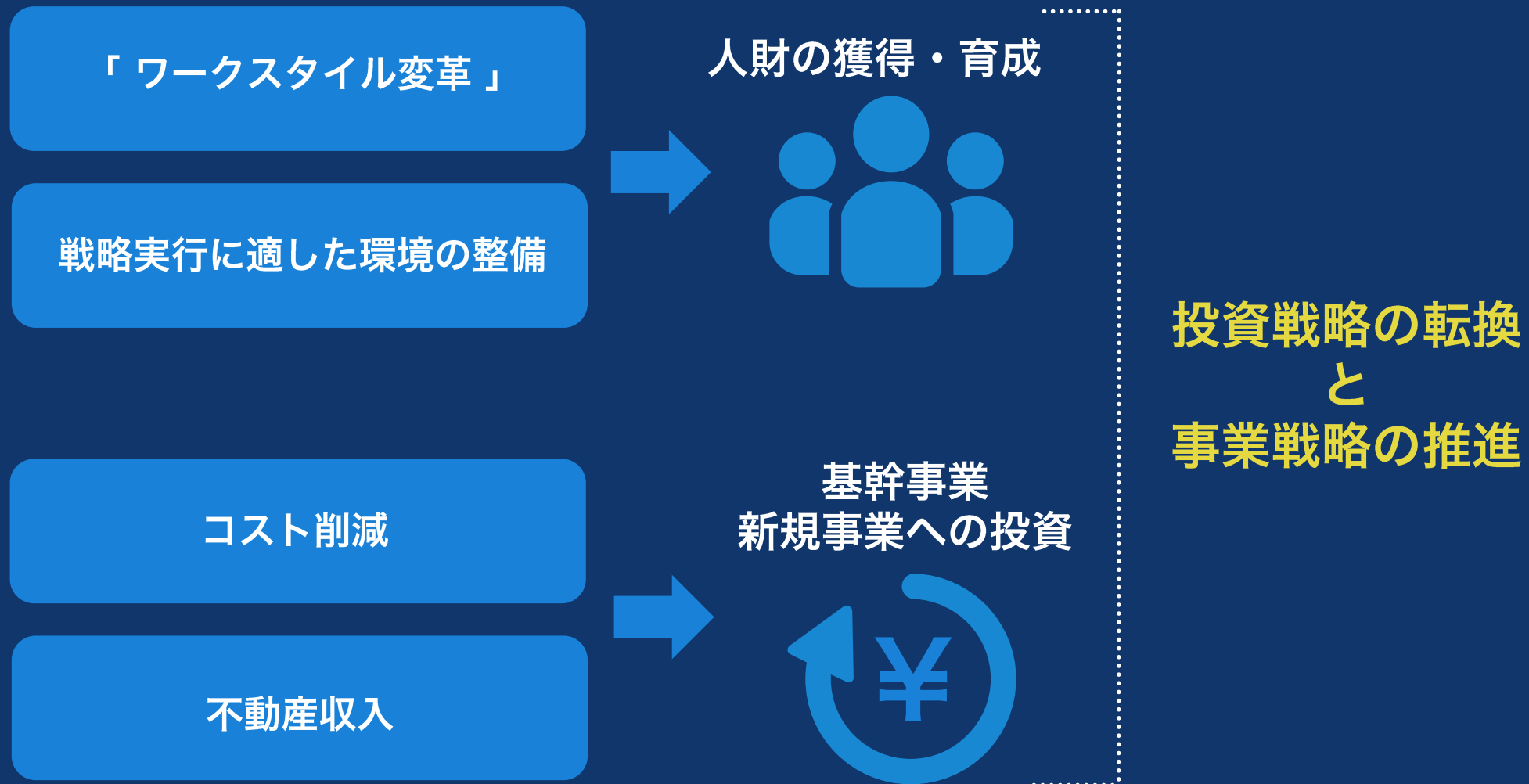
2017年4月着工  
来期第1四半期早々から収入を予定

賃貸化



安定した長期収入

# 2017年8月期下期・通期計画【投資戦略】





米国の政策



新興国経済の減速



英国のEU離脱

先行き不透明な環境

「ソフトの投資」を前倒し、構造改革をさらに加速



# 2017年8月期下期・通期計画

( 連結 )	2016年8月期	2017年8月期	
	通期実績	通期計画	前年比 (増減率)
売上高	21,566	19,500	▲9.6%
営業利益	338	340	+0.5%
< 売上比 >	1.6%	1.7%	+0.1pt
経常利益	360	370	+2.5%
< 売上比 >	1.7%	1.9%	+0.2pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲3,468	140	—
< 売上比 >	—	0.7%	—

<単位 百万円>

# 2017年8月期下期・通期計画【出退店・既存店】

## 出退店計画

- ▶ クロコダイルレディスを中心としたクロコダイルグループの出店
- ▶ エーグル店舗は2017年3月1日をもってラコステジャパンに承継済み

**891** 店舗  
＜直営 **11** 店舗 コーナー **880** 店舗＞

純増数(2月末比)

**+14** 店舗

＜直営 ±0店舗 コーナー +14店舗＞

## 既存店計画

 **1%** 計画

前年比微減を計画

全社計画 99 %

## 自己株式の取得

---

上期は  
36万9,000株の自己株式を取得

---

下期に新たに6万2,000株を取得（2017年3月28日公表）

**2017年8月期 累計43万1,000株を取得**

今後も株主価値と資本効率の向上を目指し  
自己株式の取得を検討

## 配当政策の基本方針

---

**12円／年以上を前提  
配当性向70%以上の安定配当**

---

2017年8月期配当

当初計画どおり

**12 円／年（ 中間 6 円・期末6円 ） を予定**

## 第三の創業

「ハードからソフトへの変革」  
を実行

本資料には将来の業績に関する予測が含まれておりますが、経済状況や経営環境の変化等に応じて実際の成果や業績と異なる可能性があります。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものがありますことにご留意下さい。